

# 関係人口推進関係事業

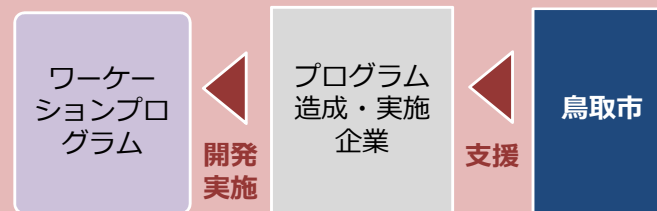
資料 5

## 関係人口推進事業費（企業立地・支援課）

### ワーケーション運営団体の支援

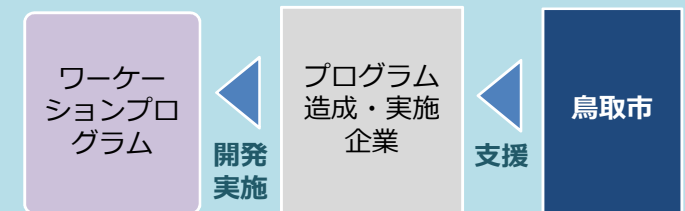


### ワーケーションプログラム開発支援



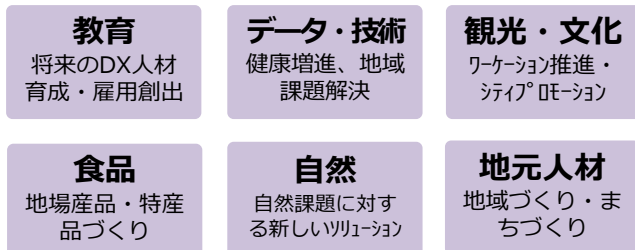
## SDGs未来都市推進事業費 （スマートエネルギー推進室）

### ワーケーションプログラム開発支援



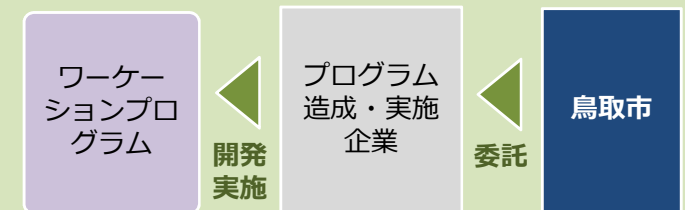
## 地域資源を活用した地域活性化に資する事業支援

### 「地域資源」の例



## 遊休不動産利活用推進事業 （まちなか未来創造課）

### ワーケーションプログラム実施





## とっとりワーケーションネットワークの構築

鳥取がワーケーションの適地として選ばれる地域を目指すため、地域連携DMO（麒麟のまち観光局）が主体となって、『とっとりワーケーションネットワーク協議会』を設立し、官民で連携しながらワーケーションを推進しています。



### 活動内容

- ・各会員間でのネットワーク構築  
会員募集と意見交換
- ・情報発信事業  
ホームページ運営  
モニターツアーの実施  
セミナーの開催・勉強会の実施
- ・交流人口拡大に繋がる各種取り組み

### 会員数

- ・特別会員（宿泊・観光関連） 1 1
  - ・一般会員 2 9
  - ・公共団体等会員 2 5
- 会員数：65**（令和6年1月現在）



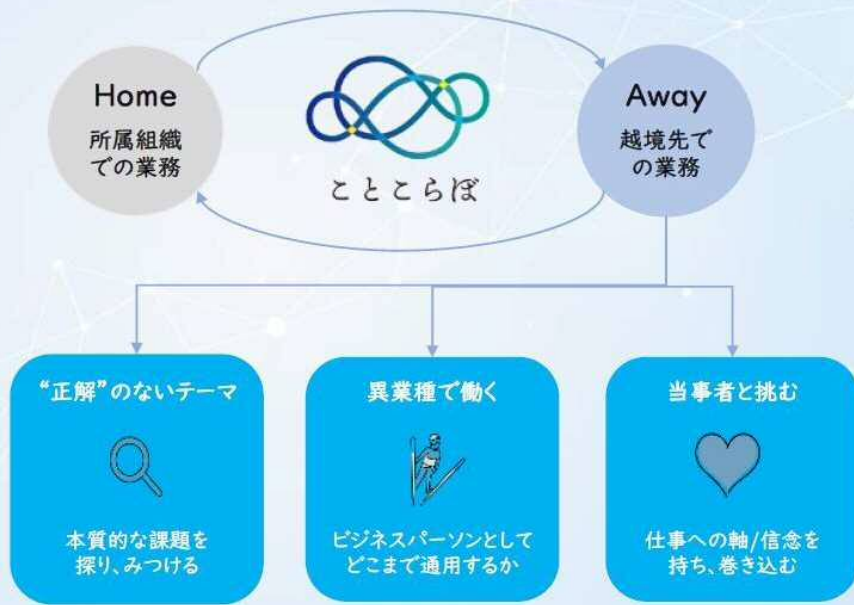
# ① 越境学習「こところぼ」プログラム

SDGs未来都市推進事業費  
(スマートエネルギータウン推進室)

## こところぼとは

### 「越境」して学ぶ4か月のプロジェクト

多様な業種・職種の人々とチームを組み、社会課題に立ち向かう当事者とビジネスを共に推進します。ケースワークではない、生きた事例に取り組む中で、次世代リーダーとしての素質を実践から学んでいきます。



# ① 越境学習「ことこらぼ」プログラム

SDGs未来都市推進事業費  
(スマートエネルギータウン推進室)



## <取り組みテーマ(候補)>

### テーマA

「鹿野町における空き家問題の本質と  
まち協独自の新対策を考案」  
~空き家不足?の克服戦略...  
まち協と、共に考え汗をかく~



物件はあるが...

### テーマB

「地域に眠る古材・古民具の  
アップサイクル作戦」  
~新たな価値づくりの仕組みと実践の第一歩~

※終了後も自主的に関わることができます。



空き家の内部。片付け・清掃は空き家活用にあたっての大きな課題である



# ① 越境学習「こところらぼ」実施の様子

SDGs未来都市推進事業費  
(スマートエネルギータウン推進室)





## ②鳥取の新しいミライを担う リーダー創造プログラム

関係人口推進事業費  
(企業立地・支援課)

鳥取の将来を担う若者と、県外企業が参加し、未来の地域に必要な「新たな価値」を創造し、地域発展に向けた新たな可能性を見つけるためのプログラム。「鳥取ってなにもない」「都心では出来るけど、地方では出来ない」本当にそうなのか？地方の方が遅れているのか？そのスピードは何が基準なのか？

問いの解決策として、様々な背景を持つ参加者がグループワークに取り組み、多角的な視点で地域や参加者自身の強みを評価しながら、自分が考える「理想とする働き・生き方」を改めて考え、今まで見えていなかった価値や可能性を見出していく。新たな地域のアップデートに繋がるきっかけを生み出すプログラム。

全3回の連続ワークショップ

### 「未来の鳥取人」を描こう！

対象：鳥取で働く地域の方

目的：鳥取の未来について共創する体験を通じ、SANDBOX TOTTORIを起点とした参加者同士のつながりを育む

#### 第1回 未来の鳥取人 を考える

7年後（2030年）の鳥取人として、  
どうありたいか？を具体化する

1. 働き方に影響する「変化の兆し」を集める
2. 5年後の働き方の「当たり前」を考える
3. 5年後の鳥取で働く「未来の鳥取人」を描く

#### 第2回 未来と今をつなぐ 取り組みを考える

描いた未来の鳥取人に近づくには、  
どんな取り組みが必要か？を形にする

1. 未来の鳥取人の働き方への理解を深める
2. 未来の働き方につながる「問い」を考える
3. 「問い」を解決するための取り組みを考え、イベントポスターをつくる

#### 第3回 未来と今をつなぐ 取り組みを伝える

第1～2回ワークショップで考えた  
内容を発表する

- イベントポスターを使い「未来の鳥取人」としてありたい姿やそのための取り組みを展示する
- ↓
- SANDBOX TOTTORIでの  
持続的な取組みに繋げる



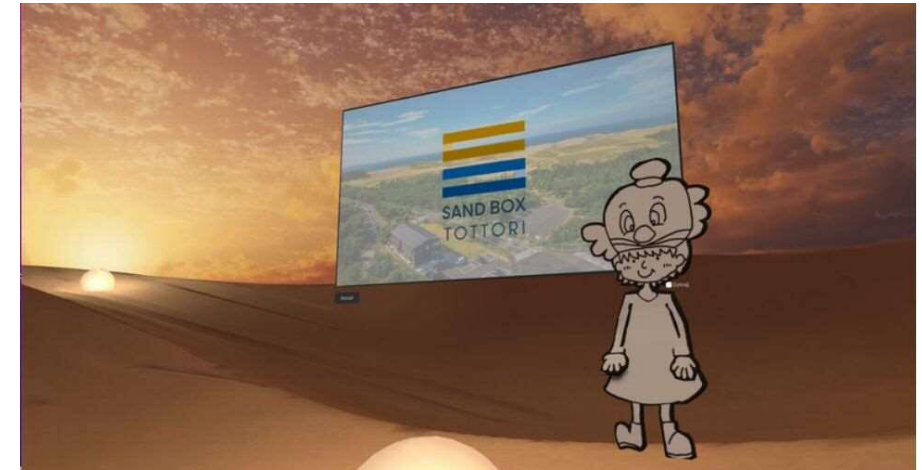


## ②鳥取の新しいミライを担う リーダー創造プログラム

関係人口推進事業費  
(企業立地・支援課)

### 参加者の声

- ・ 「鳥取って何もない」最初はネガティブな言葉しか浮かばなかったが、実はそれはマイナスじゃない事が分かった
- ・ ミライに向けて自分は何を大切にしたいか、もやもやが具体的に became
- ・ ここにいる方と新しいことが生まれそうな気がする
- ・ 鳥取との繋がりを持って嬉しい。人が温かい地域で毎回来るのが楽しみだった
- ・ イマとミライを考えることで自分の「働き方」「生き方」のヒントや来年に向けた行動を考えるきっかけになった





### ③ 雛鳥プロジェクト

関係人口推進事業費  
(企業立地・支援課)

#### 取組の概要

首都圏でメディア、地域PR、広告などに関わる方々で構成する「鳥取の魅力発掘・発信に関する勉強会」が、人材育成事業として、首都圏のZ世代の若者が鳥取市内で滞在、交流しながら地域の魅力発掘・発信を行う雛鳥プロジェクトを実施。

本プロジェクトでは、

- ①若者が河原町と用瀬町にチームに分かれ、現地の受け入れ団体に案内いただきながら地域の魅力を発掘する。
- ②参加者から地域の方々へ、地域の魅力として感じたこと、魅力の発信方法などについて発表を行う。
- ③地域の受け入れ団体から参加者に「ふるさと認定証」を贈呈し、何度も通いたくなる地域との関係性を築くとともに、フィールドワーク終了後も鳥取の魅力発信を担っていただく。

日程：令和5年11月23日～26日 活動場所：鳥取市河原町西郷地区、用瀬町

※鳥取市関係人口推進事業支援補助金を活用

#### 鳥取市河原町西郷地区

一般社団法人西郷工芸の郷あまんじゃくの北村代表のご協力のもと、窯元訪問、同法人が運営するカフェ&ギャラリー「okudan」で前田昭博氏をはじめとする作家やむらづくり協議会の方々と交流



#### 鳥取市用瀬町

株式会社週末住人の深沢さんのご協力のもと、地域の民家での薪割り体験・囲炉裏体験、地域の方々と物々交換をしながら交流する「わらしべ長者体験」などを体験







## ③ 雛鳥プロジェクト

関係人口推進事業費  
(企業立地・支援課)

### 事業の成果等

首都圏のZ世代の若者6名が3泊4日の日程で鳥取市に滞在し、現地で体験や交流を行いながら魅力発掘・発信を行った。今回のプロジェクトをきっかけとして、参加者全員が、地域の魅力を感じて再訪を熱望しており、地域側からも「何度も来て欲しい、若者が来てくれると地域が元気になる」と歓迎いただくなど、地域に何度も通いたくなる関係性が構築できている。次年度以降、この度の取組をひとつのモデルとして、2期生、3期生と参加者を募り、鳥取とつながりを持ちながら地域の魅力発掘・発信を行う人材（雛鳥）の量的拡大や育成、活動地域拡大などを目指していく。



### 参加者からの意見

- やみくもに若者を集めたらいいというわけでもなく、理解があり、地域の環境に適応できる人に来てもらうのが重要である。
- 地域に関心がある若者は増えていることからニーズを的確にとらえ、場所も用意しながら移住者を増やしていく必要がある。



### 鳥取の方々からの意見

- 今後、さらに2度、3度繰り返し地域を訪れて理解を深めていってほしい。来てくれれば来てくれるだけ歓迎したい。
- 首都圏の若者が感じた鳥取の魅力を誰に伝えたいかという視点が大事。参加者の皆さんの視点に共感する人々を連れてくるような仕組みはいいかもしい。
- 少子高齢化や地域の担い手不足が課題となる中で、何かを仕掛けてくれる人を地域は求めている。



## ④ まちづくりワーケーションプログラム

遊休不動産利活用推進事業  
(まちなか未来創造課)

鳥取市の中心市街地の具体的な遊休不動産を対象に「都市部側」と「地元側」の参加者を組み合わせた、課題解決型プログラム。都市部側の参加者は、本プログラムの参加を契機に鳥取市の関係人口となることを目指す。

具体的な遊休不動産をテーマに、現地フィールドワークと3ヶ月間のオンラインMTGを通じて事業計画を策定し、事業化を目指す。

鳥取のまちと実在する遊休不動産をテーマにしなが、鳥取と都市部の両方の人材が変容し合うということが特徴。

中心市街地の  
空き家・空き店舗



中心市街地の  
公共空間



都市部人材 × 地元人材  
(関係人口)



約3ヶ月間のオンライン×オフラインのハイブリッドプログラム

まちづくり  
ワーケーションプログラム

2023 12/10 (SUN) 10:00 ショートプレゼン オンライン

2024 1/10 (WED) 19:00 中間発表 オンライン

2024 2/25 (SUN) 12:00 最終発表会 リアル会場  
2023 12.9 - 2024 2.25 @鳥取vol.3

主催 鳥取市 / 株式会社まるとわ 共催 鳥取市中心市街地活性化協議会



## ④ まちづくりワークショッププログラム

遊休不動産利活用推進事業  
(まちなか未来創造課)

今年度は空き家・空き店舗だけではなく、公園や河川などの公共空間の利活用を行い新しい賑わい空間の創出をテーマにして「歩いて楽しいまち」を構成する空間の実現を、民間企業と一緒に検討する。

舞台は、鳥取市のリノベーションまちづくり構想の注力エリアとして位置付けられている「花見橋通り沿線」から選定する。

3年目となる本年の対象物件は、行政が不動産オーナーとなる「公共空間」を対象とし、2チームで2物件を担当する。



最初の2日間は鳥取市にて  
現地フィールドワーク

その後の約3ヶ月は(主に) オンラインで  
事業案策定やプレゼンテーション

